

地方創生推進交付金に係る事業評価シート

No	交付対象事業の名称	交付対象事業の概要	実績額(単位:円)		本事業における重要業績評価指標(KPI)と実績値										本事業終了後における評価		実績値を踏まえた事業の今後について(担当課所見)	記入担当課名	外部有識者からの評価		
			総事業費	交付金充当経費	指標	単位	単年度ごとの目標値と実績			3年間の目標値と実績					長期目標値に対する達成度合い	事業効果(担当課評価)			事業の評価	外部有識者からの意見	
							H29目標値	H30目標値	R1目標値	当初値	H29実績値	H30実績値	R1実績値	長期目標R1							
							実績値	実績値	実績値												
1	地域産品の高付加価値化と食のまちづくりによる雇用創出事業	中心となる地域産品の高付加価値化を図るため、高級な養殖魚として、非常に評価の高いマハタについて、甘夏等の地域産品を添加したオリジナル飼料や新たなレシピ等を開発し、新たな販路開拓と流通促進、「おわせマハタ」のブランド力を強化し高付加価値化を図る取り組みを行うとともに、地域資源を活用し、新たな調理加工技術も取り入れた名物メニューの開発、特産品開発をおこない、市内外においてこれらを普及定着させるためのプロモーション活動に取り組んでいく。	2,261,770	1,130,884	指標①	観光入込客数	人	15,000	15,000	15,000	635,544	648,189	627,191	650,078	680,544	②目標値の7割以上達成	②地方創生に相当程度効果があった	⑤事業の終了(当初予定通り事業を終了する(または、した))	商工観光課	☑総合戦略のKPI達成に有効であった ☐総合戦略のKPI達成に有効とは言えない	指標については、概ね目標を達成しており、本事業が指標の達成に有効であったと認める。今後事業を見直し、再構築したうえで再度推進交付金の活用も視野に入れているということであるが、その際は市内での普及や流通にも力を入れ更なるPRの強化を行い、情報発信しながら事業を推進してもらいたい。
指標②	マハタ生産額	円	825,000	825,000	825,000	166,000,000	229,995,869	243,483,874	199,126,002	168,475,000	①目標値を達成										
指標③	市内事業所への就業者数	人	0	0	0	4,976	5,055	5,052	4,990	4,976	①目標値を達成										
2	子育てしやすい・しやすいまちづくりによる移住促進事業	自然環境を活かした子育ての魅力づくり事業や子育て支援組織・団体、子育ての先輩である高齢者や高校生ボランティア等も含めた子育て人材などの育成を行うなど、地域内の子育て環境の充実を図るとともに、5市町合同による都市部での相談会の開催や情報発信をすることで、都市部からの子育て世代の移住の促進を図る。 5市町が連携するにあたっては、官民連携による「子育てしやすい・しやすいまちづくりのための移住促進会議」により、都市部における子育てを通じた移住促進の情報発信や子育てに関する情報交換を行う。 また、子育て世代等の移住希望者を受け入れるための体制整備として、それぞれの市町の強みを活かしたライフスタイルの提案や、移住希望者に生活体験をしていただく土壌作りなど、移住希望者を受け入れるためのベース作りを行います。また、5市町で取り組むことのスケールメリットを生かし、情報発信力の強化を図るとともに、市町相互間での連絡体制を確立し、移住希望者の利便性の向上を図っていく。 子育てを通じた移住促進の具体的な取組にあたっては、次の5つの柱で取り組みを進めます。これらの事業を横断的に連携させることで「子育てしやすい・しやすいまちづくりによる移住促進」を進めていく。 ①紀伊半島の自然や田舎の良さを活かした子育て事業の充実 ②子育て支援組織・団体、子育ての専門家等子育てを具体的にサポートする体制・人材の充実 ③子育て支援等にかかる市町の側面支援 ④移住希望者を受け入れるためのベース作り ⑤官民連携による都市部への移住促進PR	1,635,318	817,659	指標①	移住に係る行政窓口(空き家の情報提供や移住体験などを担当する各市町の定住移住関連担当窓口)を活用した東紀州地域への移住者数	人	60	62	65	91	187	256	325	278	①目標値を達成	②地方創生に相当程度効果があった	①事業の継続(計画通りに事業を継続する)	政策調整課 生涯学習課	☑総合戦略のKPI達成に有効であった ☐総合戦略のKPI達成に有効とは言えない	指標については、概ね目標を達成しており、本事業が指標の達成に有効であったと認める。全体的に見ても移住に関しては効果は上がっているが、移住促進のためには、事業規模が小さいように思われる。
指標②	移住相談会への参加回数	回	30	32	34	15	48	84	113	111	①目標値を達成										
指標③	子育て支援施設の利用人数	人	20,580	21,080	21,580	20,358	37,611	56,182	72,455	83,598	②目標値の7割以上達成										
3	「世界遺産」地域産業を活用した観光DMO推進事業	自然豊かな観光資源が豊富な魅力ある東紀州地域へ、国内はもとより外国人観光客を誘客し、特産品の購買等この地域での消費のしつみを構築推進するため、共通のコンセプトのもと観光客のニーズ分析に基づいたマーケティングと地域の関係団体との連携を担うDMOの立ち上げを目指す。 合わせて、DMOにより企画販売した商品等の受け皿を5市町が担って行くことを目指していく。 そして、その目的のために、訪日外国人旅行者向けの母国での情報発信、訪日外国人旅行者に受入れ環境整備や、東紀州5市町三重県官民協同による海外セールスを積極的に行い、この地域への誘客に繋げる。 観光DMOの設立、国内外観光客を活用した地域活性の具体的な取組にあたっては、次の4つの柱で進めていく。 ①東紀州地域内での観光DMO設立に向けた専門的な人材育成、データ収集分析 ②インフルエンサーのWeb・SNS等を活用した訪日外国人旅行者向け情報発信 ③外国人ビジターセンター開設も含めた訪日外国人旅行者受入れの環境整備 ④東紀州地域5市町三重県官民協同による海外セールスによる誘客促進	2,654,000	1,327,000	指標①	東紀州地域における観光消費額	百万円	100	100	100	46,423	54,712	59,653	56,884	46,723	①目標値を達成	②地方創生に相当程度効果があった	①事業の継続(計画通りに事業を継続する)	商工観光課	☑総合戦略のKPI達成に有効であった ☐総合戦略のKPI達成に有効とは言えない	指標については、概ね目標を達成しており、本事業が指標の達成に有効であったと認める。ただし、今後事業の継続において、指標③に関するKPIを見直してもらいたい。伊勢志摩をターゲットにすると被るものが多く、期待できない。
指標②	地域別観光入込客数	千人	39	40	50	1,811	2,096	2,315	2,274	1,940	①目標値を達成										
指標③	伊勢志摩・東紀州立ち寄り率・伊勢志摩→東紀州	か所	0.11	0.10	0.20	5.10	5.90	4.30	3.00	5.51	④目標値の達成は5割未満										